



未来円満

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定(世界分散型30AL(503))

四半期運用レポート

2009年1月～2009年3月

STATE STREET
GLOBAL ADVISORS | SSGA

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、世界有数の金融機関である米国ステート・ストリート銀行グループに属します。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。また、母体であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSgA)は、世界有数の資産運用額を誇る米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門です。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統ある金融機関です。

2008年7月1日付で、「ステート・ストリート投信投資顧問株式会社」は、「ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社」へ商号変更いたしました。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2009年1月～2009年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2009年1月～2009年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は12月末比9.96%下落の773.66ポイントで終了しました。
各国の景気刺激策などが好感され、株価は上昇して始まりましたが、相次ぐ国内企業による業績見通しの下方修正や世界的に金融システム不安が再燃したことなどから3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米大手銀行などの業績回復発表や米政府が発表した不良資産買い取り策を好感した米株高に加え、日本政府による大規模な経済対策への期待感などから買戻しが続いて反発しました。
業種別(東証33業種)では、円高傾向が一服したことなどから「輸送用機器」(12月末比+12.46%)が最も上昇した一方、商工ローン大手の破綻などが嫌気された「その他金融業」(同 26.24%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、軟調に推移しました。
米国株式市場は下落し、NYダウは12月末比 13.30%下落の7,608.92ポイントで終了しました。米国をはじめとする各国の景気刺激策への期待感が高まり、株価は上昇して始まりましたが、欧米企業の業績悪化や2008年12月の米失業率が16年ぶりの高水準になるなど経済状況の悪化を示唆する経済指標が相次ぎ、世界的な景気後退の深刻化が懸念され、3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米大手銀行の業績回復発表を契機に金融株を中心に買い戻しが膨らみ、反発しました。
欧州株式市場は米国同様の動きとなり、市場別騰落率は、英FT100は12月末比 11.46%下落、仏CAC40は同 12.76%下落、独DAXは同 15.08%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いながら推移し、新発10年国債利回りは3月末1.340%となりました(12月末は1.165%)。
米大統領の経済金融対策への期待感を受けた米株高と米債券安を背景に、調整地合いが続き、2月上旬にかけて新発10年国債利回りは1.3%台まで上昇して始まりました。その後は、国内景気の大規模な悪化や日本銀行の長期国債買入れの大幅増額を背景とする債券買いと、日本政府による追加経済対策に伴う国債需給悪化懸念を嫌気した債券売りが交錯し、1.3%前後の狭い範囲内で揉み合いながら推移しました。
日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。
無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

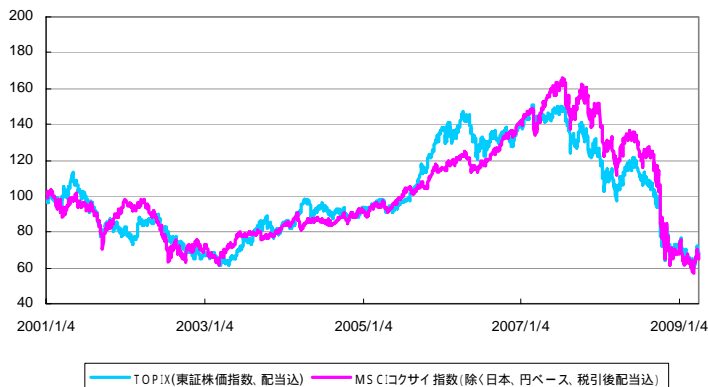
外国債券市場は、まちまちの推移となりました。
米国債券市場は、米政府による景気対策などの一連の支援策が今後の国債発行量増加につながり債券の需給関係が悪化するとの懸念から、売りが優勢となり、2月に米10年国債利回りは3.0%前後での推移となりました。3月に入り、FRB(米連邦準備制度理事会)が長期国債買入れを決定したことなどを受けて、大きく買い進まれる展開となりました。米10年国債利回りは、3月末2.663%となりました(12月末は2.212%)。
欧州債券市場は、2月上旬にかけて、国債需給悪化懸念から売りが優勢となり、独10年国債利回りは一時的に3.4%台となりました。その後、金融不安再燃から買われる展開となり、独10年国債利回りは、3月末2.994%となりました(12月末は2.951%)。
FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を1.0%引き下げ、年1.5%としました。

【外国為替市場】

円は、大幅なマイナスとなった日本の10-12月期実質GDP成長率をはじめ、景気悪化を示唆する経済指標が相次いで発表されたことを背景に、軟調な推移となりました。
米ドル/円相場は、日本の景気悪化やオバマ米新政権に対する期待感などを背景に、円安が進行しました。円は対ドルで12月末比7円20銭(+7.91%)円安ドル高の1ドル=98円23銭となりました。
ユーロ/円相場は、欧州の景気後退の深刻化懸念からユーロ売りが優勢となる局面もありましたが、東欧経済安定化期待や日本の景気悪化を背景に、円安が進行しました。円は対ユーロで12月末比1円88銭(+1.47%)円安ユーロ高の1ユーロ=129円84銭となりました。

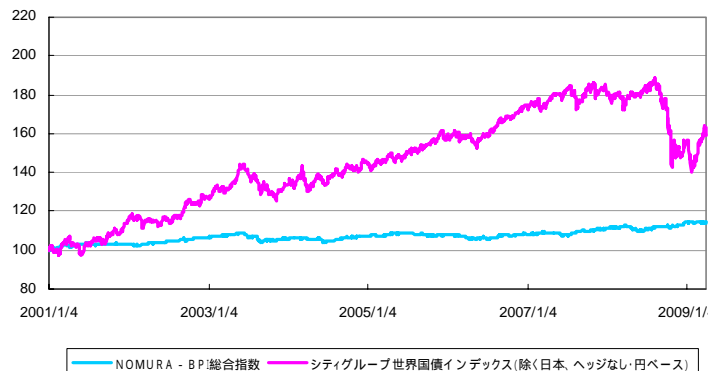
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

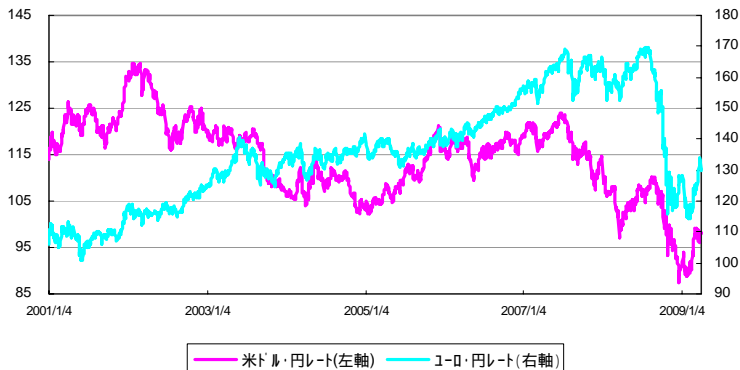


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命「Axa」 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2009年1月～2009年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2009年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30AL(503)	当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザー・ファンド受益証券15%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザー・ファンド受益証券35%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド受益証券15%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券35%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の35%のうち20%部分について、原則として為替ヘッジを行います。 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 当ファンドの主なリスク ・価格変動リスク ・信用リスク ・カントリーリスク ・為替リスク
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA <適格機関投資家限定>	

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2009年3月末	77.80	過去1ヶ月	1.79
2009年2月末	76.43	過去3ヶ月	2.17
2009年1月末	76.17	過去6ヶ月	10.42
2008年12月末	79.52	過去1年	15.25
2008年11月末	78.69	過去3年	-
2008年10月末	79.75	設定来	22.19

- ・世界分散型30AL(503)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年10月9日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30AL(503)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	14,202,839	99.6
現預金・コールローン	62,662	0.4
その他	-	-
合計	14,265,502	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

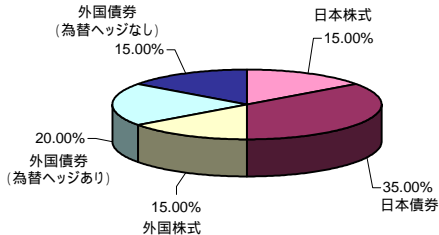
保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2009年1月～2009年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA <適格機関投資家限定> の運用状況 [2009年3月末日現在]

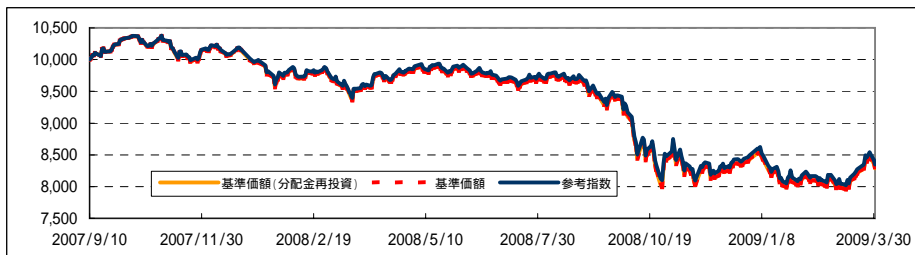
ファンドの特色

【基本配分比率】



基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA <適格機関投資家限定> の設定日(2007年9月10日)を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)15%、NOMURA - BP総合指数35%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)15%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)20%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2009年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	8,287 円	8,123 円	164 円
純資産総額(百万円)	14,203	13,523	681

	基準価額	日付
設定来高値	10,371 円	2007年10月11日
設定来安値	7,954 円	2009年3月10日

資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	15.00%	15.36%
日本債券	35.00%	34.61%
外国株式	15.00%	15.50%
外国債券(為替ヘッジあり)	20.00%	20.02%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	14.98%
短期金融資産	0.00%	0.47%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.02%	1.60%	9.43%	13.30%	-	17.13%
参考指数	1.98%	1.66%	9.39%	12.91%	-	16.50%
差	0.04%	0.05%	0.04%	0.39%	-	0.63%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.97%
アメリカ	19.65%
ドイツ	4.84%
イギリス	4.72%
フランス	4.46%

組入上位5通貨

通貨	比率
円	69.99%
米ドル	13.13%
ユーロ	10.06%
ポンド	2.92%
加ドル	1.07%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命「A・A」 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2009年1月～2009年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

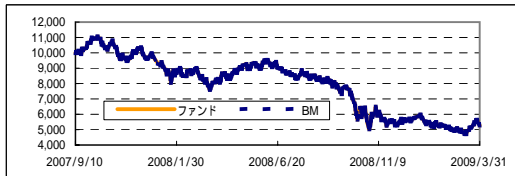
各マザーファンドの運用状況 [2009年3月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

ベンチマーク (BM) : TOPIX (東証株価指数配当込み)
比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 203,735 百万円



・2007年9月10日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	3.39%	8.86%	27.93%	34.81%	-	47.29%
ベンチマーク	3.45%	8.85%	27.89%	34.78%	-	47.31%
差	0.06%	0.01%	0.03%	0.03%	-	0.02%

・設定以来の騰落率は、2007年9月10日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,711 銘柄

銘柄	業種	ファンド	BM
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.96%	4.05%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.72%	2.78%
3 本田技研工業	輸送用機器	1.95%	2.00%
4 日本電信電話	情報・通信業	1.67%	1.71%
5 キヤノン	電気機器	1.62%	1.65%
6 東京電力	電気・ガス業	1.53%	1.57%
7 任天堂	その他製品	1.48%	1.52%
8 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.40%	1.44%
9 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.29%	1.32%
10 武田薬品工業	医薬品	1.24%	1.26%
合計		18.86%	19.30%

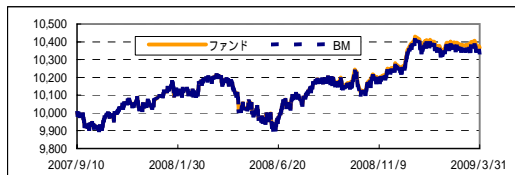
組入上位10業種

業種	ファンド	BM	差
1 電気機器	12.35%	12.63%	0.28%
2 銀行業	9.95%	10.18%	0.23%
3 輸送用機器	8.95%	9.16%	0.21%
4 電気・ガス業	6.34%	6.48%	0.15%
5 情報・通信業	6.00%	6.14%	0.14%
6 化学	5.52%	5.65%	0.13%
7 医薬品	4.59%	4.69%	0.10%
8 陸運業	4.32%	4.42%	0.10%
9 卸売業	4.30%	4.40%	0.10%
10 機械	4.04%	4.14%	0.09%
合計	66.35%	67.89%	1.53%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

ベンチマーク (BM) : NOMURA - BP 総合指数
比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 258,858 百万円



・2007年9月10日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	0.28%	0.59%	1.90%	1.60%	-	3.67%
ベンチマーク	0.32%	0.70%	1.74%	1.34%	-	3.39%
差	0.04%	0.11%	0.16%	0.26%	-	0.28%

・設定以来の騰落率は、2007年9月10日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 791 銘柄

銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1 第224回利付国債	1.800%	2010年9月20日	2.37%	0.25%
2 第232回利付国債	1.200%	2011年6月20日	2.36%	0.30%
3 第223回利付国債	1.700%	2010年9月20日	2.03%	0.50%
4 第259回利付国債	1.500%	2014年3月20日	2.00%	0.69%
5 第248回利付国債	0.700%	2013年3月20日	1.82%	0.33%
6 第229回利付国債	1.400%	2011年3月21日	1.60%	0.59%
7 第221回利付国債	1.900%	2010年6月21日	1.58%	0.25%
8 第225回利付国債	1.900%	2010年12月20日	1.51%	0.54%
9 第237回利付国債	1.500%	2012年3月20日	1.39%	0.63%
10 第240回利付国債	1.300%	2012年6月20日	1.39%	0.64%
合計			18.05%	4.72%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	82.14%	73.91%	8.23%
地方債	5.53%	6.29%	0.76%
政府保証債	6.52%	5.54%	0.98%
金融債	2.39%	2.23%	0.17%
事業債	6.42%	9.96%	3.53%
円建外債	0.00%	0.79%	0.79%
MBS債	0.00%	1.28%	1.28%
コール・その他	3.00%	0.00%	3.00%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・資産担保証券 (ABS) は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.01%	1.11%	0.10%
平均クーポン	1.58%	1.59%	0.01%
平均残存期間	7.10	7.04	0.06
修正デュレーション	6.33	6.29	0.04

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL: 0120 375 193

アクサ生命「AXA」 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2009年1月～2009年3月）

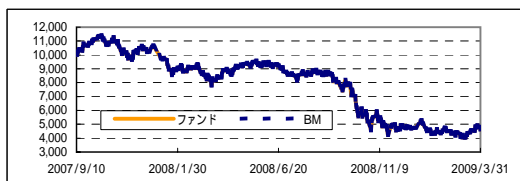
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2009年3月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド

ベンチマーク (BM) : MSCIコクサイ・インデックス(円ベース) **純資産総額:** 273,107 百万円
比率は、純資産総額比となります。



・2007年9月10日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	4.37%	3.56%	34.95%	45.08%	-	53.95%
ベンチマーク	4.37%	3.49%	34.86%	44.99%	-	53.82%
差	0.00%	0.07%	0.09%	0.08%	-	0.13%

・設定以来の騰落率は、2007年9月10日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,335 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	2.62%	2.74%
2	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	1.11%	1.16%
3	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.10%	1.15%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.05%	1.10%
5	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.04%	1.09%
6	CHEVRON CORPORATION	アメリカ	エネルギー	1.02%	1.07%
7	IBM CORP	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	0.95%	1.00%
8	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.94%	0.98%
9	BP PLC	イギリス	エネルギー	0.92%	0.97%
10	WAL-MART STORES	アメリカ	食品・生活必需品小売り	0.92%	0.96%
合計				11.67%	12.22%

・ベンチマーク (BM) の比率は2009年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

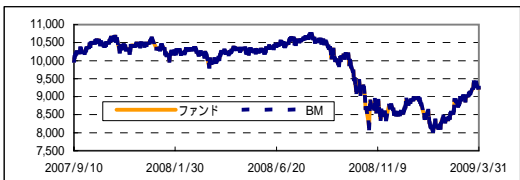
順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	12.98%	13.59%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.27%	9.70%
3	資本財	6.45%	6.74%
4	食品・飲料・タバコ	6.38%	6.68%
5	銀行	6.33%	6.60%
6	素材	6.00%	6.28%
7	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.17%	5.42%
8	電気通信サービス	5.16%	5.39%
9	公益事業	4.91%	5.15%
10	ソフトウェア・サービス	4.40%	4.61%
合計		67.06%	70.15%

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	54.34%	56.84%
2	イギリス	9.90%	10.35%
3	フランス	5.16%	5.39%
4	カナダ	4.63%	4.85%
5	ドイツ	3.94%	4.12%
6	スイス	3.92%	4.10%
7	オーストラリア	3.42%	3.56%
8	スペイン	2.07%	2.18%
9	イタリア	1.67%	1.72%
10	香港	1.17%	1.20%
合計		90.22%	94.32%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

ベンチマーク (BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース) **純資産総額:** 600,490 百万円
比率は、純資産総額比となります。



・2007年9月10日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	4.19%	3.28%	6.61%	8.38%	-	7.65%
ベンチマーク	4.23%	3.33%	6.60%	8.22%	-	7.55%
差	0.03%	0.04%	0.01%	0.16%	-	0.10%

・設定以来の騰落率は、2007年9月10日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 395 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2010年10月15日	1.00%	0.15%
2	アメリカ国債	米ドル	4.875%	2012年6月30日	0.84%	0.18%
3	アメリカ国債	米ドル	4.000%	2010年3月15日	0.76%	0.00%
4	アメリカ国債	米ドル	3.875%	2010年5月15日	0.74%	0.19%
5	アメリカ国債	米ドル	4.500%	2010年5月15日	0.73%	0.18%
6	ドイツ国債	ユーロ	5.250%	2011年1月4日	0.71%	0.37%
7	ドイツ国債	ユーロ	5.250%	2010年7月4日	0.68%	0.33%
8	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2012年9月30日	0.68%	0.16%
9	アメリカ国債	米ドル	3.875%	2010年9月15日	0.59%	0.14%
10	アメリカ国債	米ドル	5.000%	2011年2月15日	0.59%	0.27%
合計					7.33%	1.97%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことです。表面利率を表します。

・ベンチマーク (BM) の比率は2009年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	32.07%	32.28%
2	ドイツ	12.08%	12.09%
3	イタリア	11.62%	11.62%
4	フランス	10.47%	10.49%
5	イギリス	9.11%	9.09%
6	スペイン	4.37%	4.37%
7	ベルギー	3.39%	3.38%
8	オランダ	2.63%	2.63%
9	ギリシャ	2.61%	2.62%
10	カナダ	2.35%	2.38%
合計		90.70%	90.95%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均権利利回り	2.64%	2.64%	0.00%
平均クーポン	4.63%	4.41%	0.22%
平均残存期間	8.40	8.34	0.05
修正デュレーション	6.07	6.07	0.00

・「権利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の権利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・上記の属性は2009年3月30日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命 Axa 株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

ご契約者等にご負担いただくこの保険の費用は、次のとおりです。

<積立期間中および保証金額付特別勘定年金(定期)支払期間中にかかる費

項目	費用	ご負担いただく時期	
契約初期費用	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。
保険契約管理費	支払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	特別勘定の運用等に必要の費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.2625%程度 (税抜0.25%程度)	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- * 運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

<年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行により10年保証期間付終身年金または確定年金を選択した場合の年金支払期間中にかかる費用>

* 「年金払特約(06)」による年金の支払を行なう場合も同様です。

項目	費用	ご負担いただく時期	
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%	年金支払日に責任準備金から控除します。

* 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行等をご選択の場合、他に「年金管理費」がかかります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年~17年)と特別勘定年金受取期間(3年~15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。